

今年度も知多市の友好国であるカタールの情報をお届けします。今年度はタイトルを「カタール通信『ORYX』」としました。このORYX（オリックス）とは、カタールの国の動物に指定された動物です。長く伸びた2本の角が特徴です。「カタール通信『ORYX』」を通して、少しでもカタールに興味を持っていただければ幸いです。

初号の特集は「ドーハ日本人学校」についてです。

## 開校2年目 ドーハ日本人学校

私の勤めるドーハ日本人学校は2009年4月に開校しました。飛躍的に経済成長を続けるカタールにおいて、多くの日本企業が駐在するようになり、日本人学校が設立されました。しかし昨年度の開校当時は児童生徒数がわずか8名でした。徐々に児童生徒数が増え始め、本年度は22名になりました。

## ドーハ日本人学校の校舎

本校はドーハの中心部から車で西へ30分ほどいった場所に位置し、周辺はエデュケーションエリアと呼ばれ、たくさんの学校などがあります。校舎はカタール政府から無償供与されました。校舎の玄関にひととき目立つ看板は、友好都市の知多市から寄贈していただいたものです。また、玄関をくぐると目を引く日本画も知多市の日本画家・宮本様から寄贈していただいたものです。このあたりからも知多市とカタールの友好的な関係が分かります。

## 複式で行われる授業

本校は児童生徒数は少ないですが、小学部6学年、中学部3学年の計9学年全ての児童生徒がいます。しかし、教員数は校長含め5名と少ないです。そのため小学部は低学年、中学年、高学年の3つにクラスを分け、複式授業で行っています。一つの教室で2つの学年の授業が同時進行していくやり方です。だから先生たちは大忙しです。私を例にしてみると、小学部中学年の国語・算数をやり担任を務める傍ら、中学部2年生・3年生の社会科、中学部3年生の理科という具合に、自分の専門外も含め、授業を行っています。

## 暑さに負けず、元気いっぱいのドーハっ子

中東にあるカタールは非常に厳しい気候帯です。4月から11月が夏季とされています。昨年度、日本から百葉箱と温度計を取り寄せたのですが、その温度計のメーターが昼間は常に振り切ってしまっていました。この様子を見てみんな苦笑いをしていました。この温度計の上限が40度だったためです。

6月現在の日中の気温はすでに45度です。そのため、私たちは屋外での活動ができません。休み時間は校舎内のホールで元気に遊び回っています。バスケットやドッジボールをしたり、鬼ごっこをしたりして遊んでいます。

## ドーハ日本人学校の情報発信！

私はドーハ日本人学校のホームページを作っています。子どもたちの日々の活動の様子や学校行事、カタールについての情報など盛りだくさんです。ぜひ一度、ご覧ください。

ドーハ日本人学校ホームページ URL : <http://www.justmystage.com/home/doha/>



ドーハっ子22名と先生たちで記念撮影



加藤市長らが来校され、日本画を寄贈



小学部の複式授業の様子



ホールで元気いっぱいに遊ぶ子どもたち